

もう一つの教室としての歴博活用「ガイドブック作り」

— 子どもたちが生き生きと歴博見学を楽しむ姿を求めて —

香取市立湖東小学校 鈴木 聖巳

1. 実施学年：小学校第5・6学年 教科・領域：総合的な学習の時間

2. 学習のねらいと博物館の活用との関連について

①主題名 もう一つの教室としての歴博活用「ガイドブック作り」

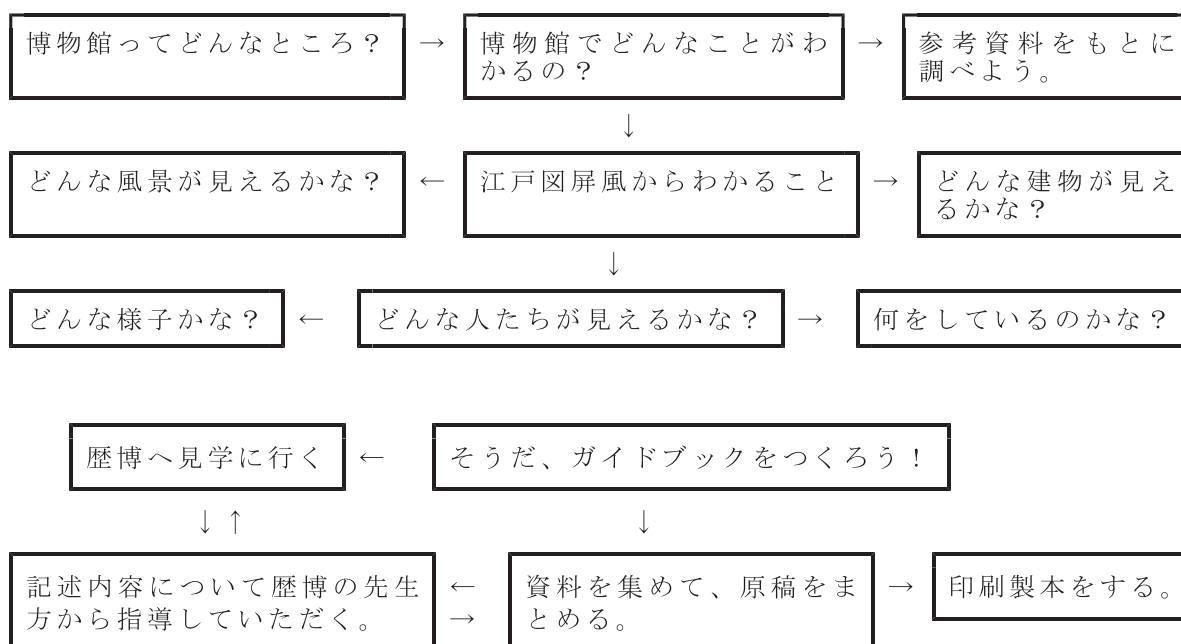
— 子どもたちが生き生きと歴博見学を楽しむ姿を求めて —

②ねらい 子どもたちが博物館を今まで以上に身近なものに感じ、生涯にわたって活用するための素地を育てる。

③博物館との連携

- ・ 見学の際、展示物の見方などについて館の職員の方に解説をお願いする。
また、見学のガイダンスや学習のまとめをするために研修室をお借りする。
- ・ 博物館が作成したワークシートなどの体験をさせていただく。
- ・ 調べ学習の資料に、博物館所蔵資料の複製や図書などをお借りする。
- ・ 子どもたちが調べた内容について、誤りがないか確認をしていただく。

3. 学習活動のイメージマップ



4. 実践の概要 1年目 70時間扱い

過程	時間	○学習活動 ●活動内容 ・児童の現れ	指導上の留意点
導入 6	6 (2)	○博物館ってどんなところ？「博物館の不思議を見つけよう。」 ●博物館を知るために、どんなことを調べたいか話し合う。 ・博物館には何があるのだろう。 ・博物館ってどのように見ていったらいいのだろう。 ・博物館で何がわかるのかな。 ・博物館の裏側はどうなっているのかな。 ・展示室にはストーリーがあるのかな。それはどんなストーリーになっているのかな。	博物館見学の前に博物館に対する知識を確認し、見学の視点を指導しておく。 第3展示室を中心に「不思議を見つける」ことを知らせておく。
	(4)	●博物館へ行ってテーマを探す。 ・江戸図屏風にはどんなことが描かれているのだろう。 ・金色の雲のようなものが見えるけど、これは何だろう。 ・たくさんの人たちが描かれているよ。 ・服装やしぐさがおもしろいよ。 ・良く見ると変わった看板か旗のような物が描かれているよ。 ・所々に文字が書いてあるけれど、読めないよ。	江戸図屏風に子どもたちの興味が向くように、事前に歴博の先生方に見学時の解説をお願いしておく。
準備 16	6 (3) (3)	○江戸時代を知ろう。 ●「江戸開府400年」NHKBSHiで放映された録画ビデオを視聴し、江戸が開府されてから徐々に発展していった様子を見て、わかったことをメモする。 ●「江戸そこにある未来」BSiで放映された録画ビデオを視聴し、歌川広重の浮世絵から江戸時代の庶民の暮らしを見て、わかったことをメモする。	視聴覚教材を準備し、予め視聴させる部分を選んでおく。(今回はBS放送を録画した物を使用)
	7 (2)	○キーワードを抜き出そう。 ●気になる事柄をキーワードとしてカードに書き出す。	名刺サイズの付箋紙と模造紙を用意しておき、子どもたちが、思い思いに書き出した物をどんどん貼っていけるようにする。
	(2)	●キーワードを「江戸のまち」「建物や地名」「設備と暮らし」「人物」「出来事」「江戸時代に関係のある事柄」などに分類し、キーワードマップを作る。 ●まとめたキーワードを項目毎に一覧表にまとめる。	
	3	○今後の方針を決める。	最終的にどのようにまとめていきたいか、イメージを持たせながら、キーワードを整理させる。
	(1)	●キーワードを整理する中で、どのように学習を進めていくか話し合う。 ・各自がキーワードから調べたい事柄を選び調べる。 ・共通している事柄を選んだ者同士がグループとなり、共同で調べる。	
	(2)	●調べた物をどのようにまとめるか話し合う。 ・新聞にして発行する。 ・模造紙にテーマごとにまとめて、発表する。 ・小冊子にして、ガイドブックのように見学の時に活用できるようにする。 ・ポケットサイズが持ちやすく使いやすいよ。	持ちやすく活用しやすいサイズを考えさせ、B6サイズとする。

	(2)	●実際に江戸図屏風を見て、新たな発見や疑問をチェックする。 ・新しい発見や疑問は、歴博の先生方に質問をしたり後日調べる事柄としてメモしておく。	
	5	○「江戸図屏風ガイドブック」をバージョンアップさせよう。	
	(5)	●不正確だった記述を修正し、新たに見つかった疑問点などについて、詳しく調べ、ガイドブックをさらに正確で実用的な物に近づける。 ・今年度手が回らなかった部分については、次年度に引き継ぐ。	出来上がって終わりとする事なく、いつまでも修正しながら内容を充実していく物であることを理解させる。

2年目 43時間扱い

過程	時間	○学習活動 ●活動内容 ・児童の現れ	指導上の留意点
導入 6	6 (2)	○博物館ってどんなところ？ Part II「江戸時代の不思議を見つけよう。」 ●今年のテーマについて、どんなことを調べたいか話し合う。 ・江戸図屏風ガイドブックをもっと詳しいものにした い。 ・第3展示室の他の展示物について調べたい。 ・前回の見学の時に寺子屋体験をしてとても楽しかったから、寺子屋について調べたい。 ・次の見学の時に新しいテーマを探したい。	今回も第3展示室を中心に「不思議を見つける」ことを知らせておく。
	(4)	●博物館へ行ってテーマを探す。 ・前回作った江戸図屏風ガイドブックに、不足していることや誤った記述はないか確かめる。 ・別のコーナーに四季農耕図屏風があって、見ていると楽しいよ。 ・江戸橋広小路の模型がとてもリアルに作られていて、たくさんの人形もあり、調べたらおもしろそう。 ・寺子屋体験コーナーの先生方からいろいろお話を聞いたよ。 ・図書室で、参考になりそうな本を調べさせてもらったよ。	事前に、歴博の先生方に子どもたちの質問を受けていただけるようお願いしておく。 子どもたちのテーマが決まったら、必要な資料についてアドバイスがいただけるように、歴博にお願いする。
準備 2	2 (2)	○今後の方針を決める。 ●調べた物をどのようにまとめるか話し合う。 ・新聞にして発行する。 ・模造紙にテーマごとにまとめて、発表する。 ・江戸図屏風ガイドブックのように小冊子にまとめる。 ・テーマごとに冊子にする。 ・「江戸ガイドブック」として1冊にまとめる。	自分たちだけでなく、他の人も活用できるような形で残せるものは何か、考えさせる。
展開 30	30 (10)	○ガイドブックを作ろう。 ●テーマにそって、資料を集める。 ・学校の図書だけでなく、地域の図書館からも図書を借りて調べる。 ・インターネットで調べる。	画像などについては、可能な限り制作者から使用の許可を得る。 歴博にある蔵書や画像をお借りしたり、部分的に

		<ul style="list-style-type: none"> ・質問事項を整理し、歴博の先生方にご指導いただく。 ・ガイドブックに載せたい画像を選び、パソコンに取り込む。 <p>※前回の見学だけではガイドブックに載せる項目を見つけていないため、長期休業及びその他の休日を利用し、保護者の方の協力を得て全3回の親子歴博見学会を行う。ただしこの見学会は授業として行っていないため、時数としては計算していない。</p>	<p>コピーをさせていただいたものを資料として活用する。 出版されている図書などを購入して活用する。</p> <p>見学希望の有無を確認後、保護者と歴博との日程調整を行うと共に、移動中の安全に配慮する。</p>
	(10)	<ul style="list-style-type: none"> ●調べた内容を整理し、原稿の下書きをする。 ・不正確な事柄や、偏った解釈で書かれていないか、書かれている内容に矛盾がないか何度も読み直す。 ・下書きをよく見直し、必要な事柄が書かれているか、無駄な事柄や重複したところがないか確かめる。 	<p>下書きした原稿をよく見直した上で、子どもたちの認識や解釈、記述に誤りがないか歴博の先生方に、確認をお願いします。</p>
	(10)	<ul style="list-style-type: none"> ●原稿をまとめ「江戸ガイドブック」として製本する。 ・出来上がった原稿からパソコン入力し、見出しとページ番号をつけて保存する。 ・項目ごとに入力された原稿を、順序よく一つのファイルにまとめ、ページの確認をして、目次を作成する。 ・表紙のデザインと用紙を決める。 ・印刷し製本する。 	<p>画像や写真を多用したため、カラー印刷とする。 インクジェットプリンタで印刷する。</p>
ま と め 5	5 (3)	<p>○出来上がった「江戸ガイドブック」を持って歴博見学に行こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自分たちが作ったガイドブックで、江戸時代を調べる。 ・自分が調べた事柄だけでなく、友だちが調べた事柄についてもガイドブックの解説を読みながらよく観察する。 ・改めて自分たちのガイドブックが見学の役に立つかどうかチェックする。 ・書かれている内容に誤りはないか、展示パネルやタッチパネルなどの解説で確かめる。 ・新しい発見や疑問は、歴博の先生方に質問をしたり後日調べる事柄としてメモしておく。 <p>○2つをバージョンアップさせよう。</p>	<p>ガイドブックの内容に不足は無かったか、丁寧に観察させるとともに、歴博の先生方とコミュニケーションをとることで、新たな発見や疑問はないか、確認させる。</p>
	(2)	<ul style="list-style-type: none"> ●不正確だった記述を修正し、新たに見つかった疑問点などについて、詳しく調べ、ガイドブックをさらに正確で実用的な物に近づける。 ・今年度手が回らなかった部分については、次年度に引き継ぐ。 ・次年度に歴博で調べたいテーマを探す。 	<p>今回の活動で終わりとすることなく、これからも生涯に渡って積極的に歴博と関わり続けて行けるよう働きかける。</p>

5. 成果と課題

〔成果〕

- ・ 2年間の学習を通し、子どもたちの博物館に対する印象がとても大きく変わり、博物館見学を楽しみにするようになった。
- ・ 博物館の展示物や、パネルなどの解説を丁寧に読むなど、一つの展示物を時間をかけて観察するようになった。
- ・ 自分なりの課題意識を持って見学に臨むようになった。
- ・ ガイドブック作りを通し、資料の集め方や集めた資料のまとめ方が身についてきた。
- ・ インターネットを活用するスキルが向上した。
- ・ パソコン操作のスキルが向上した。
- ・ 歴史に対する興味関心が非常に高まった。
- ・ 次年度へ向けて、さらに歴博を活用したいという意欲が高まった。

〔今後の見通しと課題〕

今回の研究で、本校として非常に多くの成果が見られた。これは2年間にわたる博学連携研究会議という機会があったことと、さらにその前に歴博協力校として2年間の関わりがあり、合わせて4年間にわたる協力関係があったらばこそのことである。また、小規模校である本校が、博物館を活用するために非常に恵まれた環境にあったことも大きい。

今年は2冊の「ガイドブック」という学習の跡が後々活用できるものでまとめることができたが、これがゴールではなくスタートであるとの認識で、これからどう連携を継続していくか、ということが一番の大きな課題であると思う。

6. わたしの考える歴博活用案

高学年	総合	主題 歴博クイズをつくろう	4時間扱い
-----	----	---------------	-------

①学習のねらい

一つ一つの展示物には、歴史的な背景と共に展示した人の思いが込められていることを理解し、その思いを読み解くことでさらに深くその時代やそれぞれの事柄に対する理解を深める。

博物館をより一層身近なものとし、積極的に活用しようとする意欲を育てる。

②使用資料

歴博の展示物と解説パネル

歴博の図書室にある参考図書

その他関連図書・画像など

③展開 4 単位時間扱い（1 日の見学時間を想定 1 単位時間を 45 分として）

過程	時間	○学習活動 ●活動内容	指導上の留意点
導入	(分) 10	○歴博探検クイズをつくろう。 ●歴博見学時の目当てを持つ。	ガイダンス時に、歴博見学でたくさん の不思議を見つけて、クイズを作 ることを伝え、見学時の意欲を持た せる。
展開	60 50 45	○クイズの種を見つけよう。 ●展示室にある資料をよく観察し、「何だ ろう？不思議だなぁ。」と思う、クイズ の題材にできそうなものを見つける。 ●疑問に思ったことを、解説を読んだり、 歴博の先生方にたずねたりして、クイ ズにできそうかどうか吟味する。 ○クイズを考えよう。 ●読む人が興味を持って取り組めるよう、 出題のし方を工夫しながらクイズを作 る。	展示室の隅や大きな資料の脇など、見 落としがちなものにこそ、注意させる。 見つけた事柄をよく整理し、ノートに まとめてから調べたり、質問したりす るように指導する。 歴博の方からお話をうかがう時に、 その展示物からどのようなことを知る ことができるのか、どのような意味が あってそこに展示されているのか、な どをできるだけお話しいただけるよう にお願いをする。 問題を整理するための場所を確保する。 (事前に研修室をお借りする等)
まとめ	30 45	○クイズを解いてみよう。 ●友だちが作ったクイズを展示室で解く。 ●もっと見たい、調べたい事柄は他にな いか、展示室をゆっくり見学し、学校 に戻ってからの学習課題と次回の見学 時の目当てを見つける。	自分なりの解答を考え、出題者に解説 してもらいながら、展示を丁寧に見学 させる。 今後の学習意欲と、次回の見学に対す るめあてを持たせる。

児童の学習感想

5年生 女子

ガイドブックを作って 5年 1

私は「江戸橋成小」のガイドブックを作って、最初はガイドブックを作ったことが多く、おもしろいことがたくさんありました。特に、どういう文章にしていいのかわかりませんでした。でも6年生に教えてもらってできるようになりました。

「江戸橋成小」のガイドブックを作る時に、お店や屋台についてのページを担当しました。

お店や屋台についてのことは、本などにあまりのっていません。文章にうまくまとめることがとても大変だなを最後までやるのができませんでした。

5年 2

私は「江戸橋成小」のガイドブックについて調べて、初めて知ったことは、お店の前にはお盆が置いてあること、家の前にお盆が置いてあること、お盆という名前の屋台があること、一文あたり20〜40円、一回あたり8〜10万円ということも初めて知りました。

一番大変だったことは、テーマを見つけること、屋台やお店についてのくわしい資料を集めることでした。

テーマを見つけるのは、ほとんどが自分の調べたお盆がなかなか見つかりませんでした。

お店についての資料は、お盆や人についての資料より見つかりやすかったです。

5年 3

す。でも、屋台や店の資料の方が量約に多かったです。

6年生になった5年生の授業が始まるので、江戸橋成小のガイドブックを作る時に学んだことなどを活用していました。

そしてまたガイドブックが完成したというガイドブックを作った6年生の様にかんがえていきたいです。

5年生 男子

寺子屋ガイドブックを作った 1

5年

ぼくは総合学習で寺子屋のことを調べました。

まず、ぼくはガイドブックを作ることが初めてだったので、おもしろいことがわかって大変でした。なぜ大変だったかというと、まずガイドブックにのせる資料を集めることが大変でした。でも、屋台の人やお盆のことがわかってきたのでガイドブックが完成しました。

お盆のことがわかってきたので、お盆のことも大変でした。

ぼくが寺子屋のことに調べてわかったことは、寺子屋は、お盆などを中心に、

5年 2

調べていたということ、お盆の行事や習慣なども、お盆の行事や習慣がわかってきたので、お盆のことがわかってきました。

ぼくは総合学習で寺子屋のことを調べて、お盆のことがわかってきました。お盆のことがわかってきたので、お盆のことがわかってきました。

6年

2年間を通して

私は2年間この江戸ガイドブック作りをしてきて、学んだことがたくさんあります。

5年生の時は、江戸回屏風ガイドブック作りをしました。私はその時、日本橋の様子を調べる相当と水道橋について調べました。日本橋は、かぶさ者やものごいでいたり、荷物を積んでいる船などがたくさん行き来して、とてもにぎわっていることがわかりました。

私は日本橋は他の橋に比べて人や船がたくさんいるので、人気のある橋だと思ったかと思いました。水道橋については、水道設備は、神田上水

6年生 女子

玉川上水の頃に設備された事と水道橋の名前の由来など水道橋についていろいろな事がわかりました。

他にも、この江戸回屏風には、お盆がたくさん描かれている事や江戸城についてなどいろいろな事がわかりました。そして完成してとてもいいガイドブックができたのでとても嬉しかったです。そして私達は引き続きでまちがえている所を直したりして、まちがいのないガイドブックが完成したので嬉しかったです。そして今年度、私達は5年生と壁紙に行き調べたいテーマを決め、グループに別れ新しい

ガイドブック作りをする事にしました。私のグループは、四季農耕回屏風というものに興味をもちました。春から冬までの農作業がくわしく描かれていて、また農民が田んぼの仕事をしたり、何んだかわからない事をしている、農民がどんな事をしているかわくわく知りたくなったのでこのテーマにしました。

調べていくうちに、春と夏が右隻、秋と冬が左隻に描かれている事や右隻は漁をしている人や薬屋のような人がいたり、田舎をしている人達がいることがわかりました。左隻には、よく見ると、箕や土など農作業の道具がたくさん描かれていることがわかりました。この

屏風の事は何も知らなかったけれど調べてみていろいろな事がわかり、またよく見ると道具や動物などが描かれていて、「おもしろい」と思いました。ガイドブックは無事完成しました。できれば、よくできていたので「がんばって完成させてよかった」と思いました。完成して本当に良かったです。今後の取り組みについては、中学校ではガイドブック作りはしないと思うけれど、この江戸ガイドブック作りの学習を中学校の勉強で役立てるようにしたいです。